

地理歴史・公民科

教科名	公民科	科目名	基礎社会
科目の目標	日本と西洋の意識や文化の違いを「ことば」を通じて認知することで、社会の変化に伴う様々な現代の諸課題に対する関心をもち、その解決方法を積極的に主体的に追求しようとする姿勢を養うとともに、他者の意見等を通じて多面的・多角的に考え、公正に判断し、その内容を的確にまとめ・表現する力を育成する。		
履修学年	2年	類型	文系
単位数	1単位	履修形態	必修

① 学習の目標…旭東DPのうち特に(認知力、共感力、探究力、創造力)を育成する。

- (1) 日本人の持つ古来からの精神及び外来文化の受容とその苦悩に共感することで、日本と西洋の意識の違いを認知する。
- (2) 外来語や翻訳語の持つ本来の意味を認知する。
- (3) 言葉の本質的な意味を通じて、政治、経済における課題を設定し、自らその解決の在り方を探究する。

② 学習内容と授業の進め方

- (1) 日本の近代化の背景にある西洋化について、西洋から導入された言葉を手がかりとし、現代の日本において日常的に使用されている政治や経済に関する言葉の本質的な意味について追求していきます。
- (2) 理解した言葉をもとに、日本と西洋の社会の構造の違いについて知り、日本史や世界史の学習の土台作りをしていきます。また、3年次の政治・経済、倫理の学習の土台作りをしていきます。
- (3) 日本人と西洋の文化・意識の違いや理解した言葉をもとに、現代の評論文を言葉の本質を追究しながら、読み進められるようにしていきます。
- (4) 日本人と西洋の文化・意識の違いや理解した言葉をもとに、現代の社会における課題を設定し、解決への糸口を探究していきます。
- (5) 学習テーマに該当する外部人材を講師に招き、講義を行ってもらいます。

③ 学習に当たっての留意点

- (1) 「社会」における課題を追求するためには、単なる用語や事項の暗記ではなく、そのことばの本質的な意味について追求する姿勢を養うことが必要です。原理・原則の適切な認知を基礎とし、現代社会における多様な課題を考察するにあたり、社会背景や文化・意識について多角的・多面的に探究することが必要です。また、探究することは本質的な理解にもつながります。「どのような状況で、何を目的に、何がなされたのか」という観点から「社会を認知する」訓練をしていきましょう。
- (2) 基礎社会の学習を地歴科目の学習の土台となるように、日本史や世界史の教科書や図説等を参考資料として活用します。

④ 評価の観点…学習指導要領上の観点と重視する旭東DPの関係性。

力・態度	学習指導要領の観点	S(価値創造的)	A(問題解決的)	B(標準的)	C(要改善)
認知力	知識・理解【知】	社会事象を具体化・抽象化して捉えることができる。	社会事象を多面的な視点で捉えることができる。	社会事象を主観と客観に分けて捉えることができる。	社会事象を主観で捉えることにとどまっている。
共感力	関心・意欲・態度【関】	他者や社会との関係性の中で、適切な自己の役割を見出そうとする。	自ら他者や社会と繋がろうとする。	他者の存在や社会の在り方を受け止めようとする。	自らの世界にとどまっている。
探究力	思考・判断・表現【思】 技能【技】	広げ・高め・深めるためさらに問い続けようとする。	自ら立てた問いに対して解決への道筋を探ろうとする。	自ら問いを立てようとする。	問いを与えられることにとどまっている。
創造力	関心・意欲・態度【関】	時代や社会の変動を見据えて、複合的な視点から新たな価値を提案しようとする。	特定の社会背景の中で、複合的な視点から新たな価値を生み出そうとする。	現状の課題を認識し、自ら次の段階を切り拓こうとする。	現状の社会に流されている。

⑤ 評価の方法

上記の評価の観点を観点別に作成した定期考査と達成評価表に基づくレポートによって評価します。

【年間計画】

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法など
4		教科オリエンテーション(言葉の意味を追求するというこ 0 外来思想の受容と日本人の自覚 参照:現代社会教科書P52～56	・課題や先哲の生き方あり方を認識し、現状について理解している。 【知識・理解】 ・課題の解決方法について、学習した知識や先哲の生き方あり方を基にして考察することができる。
5		1 人間と社会における政治の意義と役割	【思考・判断】 ・社会的課題の認識のために、効果的に資料を活用し、客観的データを基に課題の提示を行うことができる。
6		政治を行うことの重要性・必要性とは	【資料活用・表現】 ・社会的課題を学習した内容から、どのように解決すべきか、自己の在り方生き方と連動させながら、関心を深めることができる。【関心・意欲・態度】
7		民主政治の在り方について考察する 参照:現代社会教科書P58～63	
8		2 人間と社会における法の意義と役割	
9		憲法・法が社会の中で果たす役割とは 法の持つ二面性について考察する 参照:現代社会教科書P100～105	
前期期末考査			
9		3 人間と社会における経済の意義と役割	・課題や先哲の生き方あり方を認識し、現状について理解している。 【知識・理解】 ・課題の解決方法について、学習した知識や先哲の生き方あり方を基にして考察することができる。
10		経済活動の意味を考える	【思考・判断】 ・社会的課題の認識のために、効果的に資料を活用し、客観的データを基に課題の提示を行うことができる。
11		価値の在り方について考察する 参照:現代社会教科書P110～111	【資料活用・表現】 ・社会的課題を学習した内容から、どのように解決すべきか、自己の在り方生き方と連動させながら、関心を深めることができる。【関心・意欲・態度】
12		4 人間と社会における経営の意義と役割	
1		経営の意味を考える	
2		価値を見いだす在り方について考察する 参照:現代社会教科書P112～115	
		5 人間とはどういう存在かについて考察する	
後期期末考査			
3		3年生での学習へ向けて	